

「香港中文大学インターナショナルサマースクール（英語コース） 参加報告書」

京都大学経済学部・3年 水川卓

【本レポートの構成】

- ①生活環境について
- ②授業について
- ③授業後や休日の過ごし方について
- ④英語力の成長について

【①生活環境について】

まず初めに、生活に必要な、設備やインフラ等の環境について述べたいと思います。初日、大学に初めてたどり着いたとき、キャンパスが山の中に建てられていて驚きました。キャンパス内は、宿舎、売店、図書館、教室、駅などの場所が散在しており、それぞれをバスで行き来しなければならないため時間がかかり、不便だと感じました。宿舎の食堂は、価格は日本のものと同じくらいでしたが、好き嫌いが少ない僕でも口に合わないものが多く、苦労しました。その他は至って普通で、大きな問題はありませんでした。ただし、自分の部屋の掃除は自分でしなければならないため、掃除道具を持ってくればよかったと思いました。

【②授業について】

次に授業について述べたいと思います。僕が受講したのは2つとも中国語の講義です。既に大学で2年間学習していたので、3つのレベルの内、2つ目のレベルを選択しました。先生方は英語が話せる中国人でした。中国語では説明するのが難しい場合を除き、常に中国語を話していました。授業の質は両方とも素晴らしかったです。受講者数が5人と7人と少ないからか、非常にリラックスした感じで、質問や自分が作った例文、さらには冗談をいつでも披露できるような雰囲気でした。また、文法などの規則の説明より、実践練習に重きが置かれていて、今まで学日本で学んだ表現を実際の会話の中で使う練習をすることが出来ました。まさに「日本では受けられない」ような授業でしたので、非常に満足しています

【③授業後や休日の過ごし方について】

1週間に、3時間の授業が6コマありました。それ以外は自由時間で、その多くは、中国語の予習復習や大学レポートの作成をしたり、友人たちとキャンパス内外で食事をとるなどして時間を過ごしました。行動を共にしたのは主に、クラスメイトやルームメイト、さらにはオリエンテーションで出会った人たちです。英語力の向上や異文化交流のために、日本人同士で行動することを避けるように心がけていました。また、友人との都合が合わず何もすることがないときは、パソコンで英語音声・英語字幕の映画鑑賞をして英語の学習をしました。

【④英語力の成長について】

英語力は成長したように感じます。特に成長を感じるのはスピーキングです。あいさつをはじめとする日常会話で以前よりスムーズに会話ができるようになりました。一度使ったフレーズは繰り返し使いやすく、違う場面でスムーズに表現することが出来ました。会話の機会を多く設け、何回もフレーズを使うことがスピーキングの成長のカギであるように感じました。リスニングは、話し相手の口調が速かったり、内容が難しいときは、聞き取れないことが多くありました。リスニングの練習不足や語彙力不足を痛感させられ、今後の課題となりました。